

# 広報 うけん

Public relations magazine of village Uken

VOL.316

2015 July

7



田検小学校で行われたカッター訓練の様子

# 平成27年度 施政方針

毎年、第1回目の村議会定例会での村長が表明する施政方針は、その年度における政策の方向性を示すものです。

今回、その施政方針の内容につきまして掲載いたします。（※紙面の都合上一部抜粋）



宇検村長  
元田 信有



宇検村

## はじめに

村政運営の基本方針としては、第5次宇検村総合振興計画に基づき、住民の和を基本として、豊かな自然と歴史・文化を生かし、安らぎと潤いのある宇検村づくりに取り組んでまいります。

そのために、やり甲斐のある産業の振興、心休まる医療・福祉の充実、伸びやかな子ども教育、世界自然遺産登録の実現と豊かな自然を活かした観光の振興など新たな施策を取り入れながら、村民が元気で「住んで良かった」と言える村づくりを推進して行きたいと思えます。

## 行財政改革

本村は、これまで行財政

改革を進め、事務事業、組織機構、定員管理等を見直してきました。

しかし、産業の振興や建設事業の効率化を考えた時、組織機構をもう一度見直しを行い、産業部門を独立させ、地域にあった農林水産業の振興を図って参ります。

## 整備事業

県道については、道路整備交付金事業、佐念工区にて、佐念からタエン浜間の道路改良事業を要望して参ります。特に、今年度は佐念集落のボックス暗渠の改修を予定しています。

村道関係につきましては、村道須古石良線の完成に伴い、平成27年度からは、村道「宇検船越線」の改良工事及び村道「石良油井線」の舗装補修工事に着手する計画です。

## 農業振興

住宅については、今年度屋鈍集落に公営住宅1棟2戸を建設します。小規模住宅は湯湾地区に補助で1戸を整備します。

新規就農支援施策として、新たな農家の掘り起こしを行い、「人・農地プラン」に

位置づけられる経営体の後継者の人材の育成を目的とした活動を行い、非農家・団体等からの農業参入を働きかけるとともに、青年就農給付金の有効活用による新規農家の育成、既存農家についても労力の省力化及び規模拡大を図ります。

作物では、これまで同様、サトウキビ、タンカン、マングロー、カボチャ、パッションフルーツ等の生産を奨励し、農家の所得向上に努めてまいります。

## 林業振興

マンゴーについては、昨年、農家の努力により、「かごしまの農林水産物認証」を受けました。今後は、認証取得農家を増やし、共販体制と宇検マンゴーブランドの確立を目指します。

森林資源の保全は、村域全体にわたることから、世界自然遺産登録に向けた取組と並行した事業の展開を行うため、国立公園化になっていく過程で、守るべきゾーンと、資源として活用するゾーンを色分けしつつ、循環型林業の形態を目指します。

県営林道事業につきましては、林道佐念線が引き続き平成33年度まで計画されています。同じく林道田検福元線の舗装工事は、平成26年度から35年度まで計画

し、今年度より一部舗装工事を実施する予定にしています。

## 水産振興

焼内湾の大きな入り江を利用したマグロ・クルマエビ・真珠の養殖等、栽培型漁業は、本村の主要な産業であり、雇用創出の場となっています。

また、本村の経済に及ぼす影響は多大であるので、企業との信頼関係を構築しながら、生産力の向上に協力してまいります。

## 観光・商工業

観光の開発については、豊かな自然を生かした観光と交流を進めたいと考えています。

これまで、赤土山展望台や屋鈍地区園地など整備し

てきましたが、本年度も田検四級地区の公園を再整備します。一方、うけん市場や「開運の郷」を利用し、焼酎工場や黒糖工場の見学・野球場周辺に整備したグラウンドゴルフ場の使用など、観光客の増加を図ります。

また、レストラン、既存の旅館などと連携しながら都会の方々に自然や農作業体験を行っていただき、また、ちびっ子体験事業等を通じて宇検村の良さをPRし、中長期滞在型につながっていくような施策を講じて参ります。

昨年に引き続き、今年も、村内にあるガジュマルの大木などを利用し、ケムンンを活用した癒しの空間などの整備をいたします。

## 保健福祉

高齢者の一人暮らしや寝

たきり及び認知症などの、要介護者や高齢者・障害者・また、乳幼児や児童生徒を取り巻く環境は年々多様化し、厳しくなってきました。

この現状を把握し、保健福祉の観点から、充実と生きがい対策等の施策を行い、長期振興計画の目標でもある「穏やかでぬくもりのある、支え合いの村づくり」を目指し、厳しい財政状況下ではありますが、創意工夫・努力を行いなから、保健福祉行政に取り組みで参りたいと思います。

## 消防・防災

複雑多様化する災害時の対応に消防団の組織力を最大限に生かし、防火・防災及び救急活動の迅速な展開に向けた施策に取り組んでまいります。そのために、消防団員の資質向上のため、

随時、研修を行います。

昨年おきました火災被害は、村にとりましても、改めて教訓にすべき災害でありました。災害にいち早く対応するために、各集落に組織されている自主防災組織での各種初期訓練や避難訓練等の実施・各消防分団の施設の整備点検を行います。

## 教育行政

村教育振興基本計画や27年度から始まる新教育委員会制度等を踏まえながら、「ふるさとを愛し、未来（あす）へはばたく、心豊かであらう」という目標を基に、郷土の自然や歴史、文化、人材等を活用しながら推進してまいります。学校教育においては、生きる力を備えた元気な宇検

村の子供の育成を目指し、「豊かな心と健やかな体を育む教育」「確かな学力の定着と個性の伸長を図る教育」「信頼され、開かれた学校づくり」を推進し、社会教育・社会体育面においては、結の心で生き生きと学ぶ活力ある宇検村民の育成を目標として、「教育の基盤づくり」と人づくりを進める生涯学習」「スポーツの活性化と地域文化及び芸術活動の振興」を推進します。

以上、村政運営は、まだまだ、厳しい財政状況ではありませんが、村民の皆様方のご理解とご協力を頂きながら、みんなで豊かな未来の実現を目指し、産業の振興、医療・福祉・教育の充実、世界遺産登録の実現と観光の振興などの施策を積極的に取り組んでまいりたいと思います。



## 1 ケンムン公園 2カ所完成！！

新小勝トンネルの奄美市住用側の出入口近くにケンムンをモチーフにしたポケットパークが2カ所完成しました。「ケンムンの棲む郷・うけん観光ルート整備事業」によりガジュマル大木横と湧水地「イジュンゴ」にケンムンの銅像とケンムン伝説を伝える観光案内板のほか、ベンチやテーブルを設置しました。今後、湯湾集落や田検集落など村内に計6カ所の公園を設置する予定です。



## 2 保枝 久信氏へ 総務大臣感謝状贈呈

長年にわたり行政相談委員を務めてこられた保枝久信氏（阿室集落）が、平成27年3月31日付けで退任することになり、総務大臣より感謝状が贈呈されました。保枝氏は平成7年1月に本村の行政相談委員へ委嘱されて以来、約20年にわたって村民の相談相手となり、行政サービスに対する苦情や問い合わせなどの相談を受け、助言や問題解決等に尽力されました。



## 3 みんな一列になって 阿室小中学校 田植え

4月11日（土）阿室小中学校敷地内にある田んぼにおいて、恒例の稲作活動となっている田植えが行われました。児童生徒19人は、阿室集落の保枝久信さんを講師に、一列になって一生懸命苗を植えていました。また、今年は平田集落の老人クラブの皆さん16人が指導者として参加し、植え方などをアドバイスしてもらい、協力しながら、田植えを楽しんでいました。



#### 4 湯湾集落共同納骨堂 「やすらぎの里」落成式

4月19日（日）湯湾集落共同納骨堂「やすらぎの里」の落成式があり、約200名が出席しました。建設されたのは、前蔵墓地の隣で、敷地面積は約1,400㎡。納骨壇190基を備える納骨堂と告別式などを行える広場が整備されました。落成式の後には、総合体育館で祝賀会も開かれ、完成を喜びました。村内で共同墓地の建設は、7カ所目となります。



#### 5 平成27年度 公民館講座開講式

4月28日（火）生涯学習センター「元気の出る館」において、平成27年度公民館講座の開講式が行われました。今年度はエアロビクス、歌謡、木工の新規3講座を含む17講座に、延べ229名の申込みがあり、昨年に比べ71人増えています。開講式に参加した約60人は、これからはじまる自分磨きの場に気持ちを新たにしていました。



#### 6 すくすくと育て玉黄金 端午一心会（田検集落）

5月5日（日）田検集落主催の端午一心会が田検小学校体育館で行われました。初節句を迎えた新生児をお祝いする毎年恒例の集落行事となっており、今回は5人の新生児に賞状を手渡し、健やかな成長を願いました。また、集落内4地区対抗のミニ運動会も行われ、集まった約70人は多彩な種目に汗を流し、会場はとても盛り上がっていました。